YUKAの透明な歌声に酔いしれたライブ

FictionJunction YUKA「Destination」発売記念イベント

話題の音楽ユニットFictionJunction YUKAのファーストアルバム『Destination』の発売記念イベント



↑「ミニではあったけど、皆さんの近くで歌えたのが幸せで、とてもうれしいです」と語るYUKA

が、11月29日、東京・お台場ビーナスフォートの教会広場で開催された。

当日は、教会広場ということもあってか、荘厳な雰囲気を漂わせた会場に、抽選で選ばれた300人を超えるファンが集合。彼らの前に先に登場したのは、作詞・作曲・編曲を担当する梶浦由記。梶浦がキーボードを奏でると、ボーカルのYUKAが姿を現わし、1曲目の「暁の車」を熱唱。続いて「瞳の欠片」を歌い上げると、会場のファンからは、大きな拍手が送られた。「皆さんの前で歌えるを、このイベントを楽しみにしていました」という2人のあいさつの後は、トークコーナーに。ブロードウェイに行って、3日半で6本のミュージカルを見たというYUKAの旅行話や、PVの収録秘話が語られる。そしてアルバムの中でもいちばん[illegible]う曲じゃないかなと梶浦が語った「[illegible]」や「誰もいない場所」といった曲でイベントが盛り上がり、ラストは「聖夜」を熱唱。「こうした場所で演奏できることは、本当に光栄で、とてもうれしく思います。きょうは来ていただいてありがとうございました」（梶浦）、「皆さんの前で歌えるのがすごく幸せ。ぜひ、ミニでないライブをやりたい」（YUKA）というコメントとともに、ファン大満足のイベントは終了した。